

愛犬の体のどこを触っても落ち着いていますか？ ボディータッチは、コミュニケーションを育むだけでなく、実は、愛犬の健康を守る上にも役に立ちます。

コミュニケーション&リラクゼーション

愛犬の体をゆっくり撫でてあげたり、抱っこしたりするスキンシップは、飼い主さんも愛犬も癒される大切なコミュニケーションになります。

最初のうちは、触ると嫌がる場所は無理に触らず、気持ち良さそうにするところだけ撫でてあげるのも構いません。少しずつ触られるのが苦手な場所をなくしていき、飼い主さんには体のどこを触られても大丈夫、むしろ気分が落ち着いて安心できるようにしていきます。

例えば災害などに遭ってしまった時などに、万が一、愛犬が怪我をしたり、恐怖や興奮でパニックになったりしてしまった時、飼い主さんが体にタッチすると落ち着いていられるようにしておく、何かと安心です。



また、どこでも飼い主さんが触れるようにしておけば、獣医さんに教わって、お薬をつけたり簡単な手当ををしたりすることが、少なくとも飼い主さんには出来ますよね。



病気や怪我の早期発見

愛犬の体をどこでも触れるようになると、病気や怪我を初期の段階で発見が可能になります。しょっちゅう触っていると、いつもと違う感覚に気づきやすくなるからです。

硬い・柔らかい・異物が触れる・変色している・ごっそり毛が抜けた・脱毛している・湿疹の痕・痛がる・痒がるなど……。さまざまな反応に、いつもと違うものを感じたら、獣医さんに相談にいきますね。重大な病気の前兆かもしれない変化や怪我の小さな痕跡を見逃さなければ、早期に、軽症で、治療が始められる可能性があります。

愛犬は人間のように口に出して、「ちょっと足が変」とか「ちょっとお腹が痛いかも」とか「熱っぽいんだけど」なんて訴えてきません。普段から、せつせと飼い主さんがボディータッチを繰り返して、愛犬が発するさまざまなシグナルを受け止めてあげられるようにしておきましょうね。



チを繰り返して、愛犬が発するさまざまなシグナルを受け止めてあげられるようにしておきましょうね。



Aikenka Navigation

愛犬家住宅ナビゲーション

AJ utaku

Vol.23 Free



自然の心地いい空気と光、そして愛犬との素敵な暮らし

白い壁は空気の浄化作用を持つスイス漆喰、床はパインのムク材、塗料は木の吸放湿を妨げない自然塗料、断熱材には羊毛 100%の呼吸するウール断熱材。そして、吹き抜けになった LDK 空間には、あらわしになった梁にシーリングファン、薪ストーブ……。自然の心地いい空気と光に満ちた T 邸は、愛犬との暮らしのための素敵なアイデアもプラスされている住まいです。



愛犬家住宅コーディネーターの
応援マスコット AJ です。
よろしく！

愛犬家住宅
コーディネーター



愛犬と暮らす住まいの実例をもっと見たい、知りたいなら、こちらの本を！愛犬と幸せに暮らす住まいの工夫やヒントが満載です。

「愛犬家住宅」の本！
「愛犬と幸せに暮らす住まいの本」
PHP研究所刊（本体 1,500 円＋税）発売中！

愛犬家の快適な住まいづくりを応援します

愛犬家住宅

愛犬家住宅 検索

お問い合わせ先